

令和5年度第1回摂津市健康づくり推進協議会要点録

日時 令和5年7月27日（木）午後2時～4時
場所 301会議室
出席者 委員13名（うちWEB参加2名）、 1名欠席
傍聴人 なし

議題

1 まちごと元気！健康せつつ21（第2次改訂版）計画進捗（資料1）
（令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画）

2 データヘルス計画について（資料2）

〈その他 情報提供〉

まちごと元気！健康せつつ21（第3次）計画について

議題1 令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について（資料1）

ご質問

悪性新生物・脳血管疾患SMRは何を100としているのか。全国基準か、大阪府基準か。

【回答】全国を100とした場合に、その地域での年齢を調整したうえでの死亡率（死亡の起こりやすさ）がどの程度高い（低い）かを示したものです。

ご質問

「ナッジ理論を活用した～」とあるが、ナッジ理論を導入して何年目なのか。ナッジ理論を活用した勸奨を、5がん全てでするのは難しいと思うので、今年度は〇〇がん、など対象を絞って実施してはどうか。

【回答】特定健診におけるナッジ理論を活用した受診勸奨は、2年前から行っており、令和5年度で3年目です。ナッジ理論を活用した受診勸奨は、特定健診で実施しているもので、がん検診では実施しておりません。

ご質問

令和5年度の計画に、「当日に医師や保健師からの受診勸奨を実施」とあるが、どこの医療機関のことか。

【回答】集団健診を行っている保健センターで実施します。

ご質問

健康器具について、啓発する取り組みをしているが、数を増やし、身近なところに置くという取り組みについてはあるのか。

【回答】まちごと元気！健康せつつ21（第2次）で、健康器具100基設置を目標に掲げていたが、健康器具数は108基設置でき、目標は達成しました。このことから現行計画期間である令和6年度まで新規設置は考えておりません。しかし、次期計画策定にあたり、令和5年度に行う予定のアンケート調査の結果を踏まえ必要な場合は、新たな健康器具の設置を検討してまいります。

ご質問

項目40は平成30年度しか数字が挙げられていないが、アンケートの対象者は誰か。小中学生にアンケートを行っているなら、学校健診があるのでアンケート結果はもっと高くてもいいのではないか。歯科医院に行って歯科健診を受けた者のみの値か？

【回答】平成30年度のは健康せつつ21の中間評価時のアンケートです。アンケートの対象者は小学5年生、中学2年生、16～19歳、20歳以上の区分ですが、項目40に関するアンケートは20歳以上の市民のみを対象としています。

ご質問

乳幼児歯科健診の「むし歯のない幼児の割合」が記載されているが、そもそもの幼児の受診率自体はどうなのか？項目39の分母を教えてください。

【回答】受診率は、項目43の「3歳6か月健診歯科健診」が基準です。実際に受診した数としては、令和4年であれば、受診者715人のうち、68人に虫歯があるため、そこから虫歯でない者の割合を出しています。

ご質問

未就園児の児童への対応はどうなっているのか？家庭で過ごしている幼児の割合がどのくらいで、そこに対するフォローはどうしているのか。神戸では、保育士・ソーシャルワーカーが未就園児を訪問し、直接顔を合わせる事業などをやっているが摂津市は如何か。地域での子育て広場に来られない家庭の方が問題がある場合が多い。事件が起きる前に予防する手立てはあるのか。

【回答】 出産育児課では、妊娠届出時から、全数専門職が妊娠・出産にかけて関わっています。生後2か月には、全数の赤ちゃん訪問を実施しており、里帰りをしている方は、里帰り先に依頼をしています。未就園児に関して、就園していなくても通えるつどいの広場が、市に11か所あります。そこで親子と繋がり、専門職に繋ぎ、節目で訪問・健診等で出会い、孤立化を防いでいます。その他、校区福祉委員の運営する子育てサロン等でも、地域とのつながりの中で関わっています。また健診未受診者対策を実施しており、子育て支援課・こども教育課・家庭児童相談課・出産育児課の4課で、転出入も含め、すべての児の把握をしています。3歳半健診以降の児に関しては、困りごとや気がかりなことをきっかけに、4課で介入しています。

議題2 データヘルス計画について (資料2)

ご質問

保健指導の実施率向上について、具体的な方向性を市としてしているのか？それとも、個々の保健師のやり方に任せているのか？自分は病気ではないと思っている方がP D C Aの行動に起こそうと思うと、自分が今どのような状態にいるのかを、言葉ではわかりにくいので図で示してもらおうとわかりやすい。受診率の向上には、次へ繋がるような支援も大切である。

【回答】 保健指導に関しては、年度初めに保健センターの保健師と方向性を決め、それに基づいて実施しています。また、今後については、保健指導を受けられる場所、受けやすい環境づくりに取り組んでまいります。

ご意見

- ・禁煙しようと思っても、依存性のためににやめたくてもやめられない人が多い。現在は、スーパーやコンビニでも手軽に買えてしまう。コンビニやスーパーでタバコを購入しづらくなるような働きかけと周りからの応援の2本立てがないと禁煙はなかなか難しい。行政としても購入しづらくなるような働きかけはできないか。電子タバコは、どの程度健康影響があるかまだ明らかでないものを吸っているということを一般の方は知らないのではないか。ぜひ市から広報していただきたい。
- ・国が2025年から国民皆歯科健診の検討している。そうになると、受診率は上がるだろう。高槻市は早くから18歳以上の方は、無料で歯科健診をやっている。吹田市も、茨木市も始める予定をしている。摂津市も検討していただきたい。
- ・国が健康日本21の第3次を5月31日に作成している。次年度からは、第3次を基本としていくことになるため、いままでの事業を総括しなくてはいけない。目標に対する考察など、目に見える数値で対応しようとしていて、全体的な構成や環境などへの視点が足りないように思う。コロナで生活様式も変わったこともあり、今までの視点と異なるやり方でやっていくと良い。またデータについては、データソース（出典元）を記載した方が良い。

- ・医療費通知および後発（ジェネリック）医薬品差額通知事業について、第三期のデータヘルス計画のなかでは検討中とあるが、現在ジェネリック医薬品は品薄状態である。そのような中で、現場でジェネリック医薬品を確保していくのは難しい。次回はそのような状態も踏まえたうえでの検討をお願いしたい。データヘルス計画の策定で国保被保険者の健康保持増進を目的としているのに、コストのことは健康保持増進に関わっているのか、疑問に思う。郵送料・人件費などを考えると、効率的でないように思う。あまり大きく掲げない方が良いのではないか。
- ・データヘルス計画の目標・実績値について、%表示だけでなく、実数（人数）でも確認できると良い。特定健診の実施率をコロナ前まで戻したのは良かった。ジェネリックに関しては、元々は意味のある項目だと思うが、今は評価が難しい項目だと思う。歯科健診のやり方のなども含め、国の提示したやり方にとらわれずにやってほしい。